

ケアマネとリハ職の 情報共有の 練習会

定員 75 名
参加費無料

日時：令和4年

11月7日（月）

19時-20時30分

場所：

姫路市総合福祉会館
5階 第1会議室

対象者：

ケアマネジャー等、
リハ職(OT・PT・ST)

★事前申し込みが必要です。裏面をご確認ください

<問い合わせ・申込先>

姫路市在宅医療・介護連携支援センター

(受託者：姫路市医師会)

TEL：079-295-3330 FAX：079-295-3351

E-mail：med-care@himeji-med.or.jp

【ケアマネの皆さん】
リハ計画書の
活用術を学ぼう！

【リハ職の皆さん】
伝え上手なリハ職
になろう！

内容

ケアマネジャーとリハ職がグループワークで、一緒にリハビリテーション計画書の情報を整理し、どのようにケアプラン作成に活用できるかを検討する

練習会で学べる ポイント

リハビリテーション計画書の

【ケアマネ】

- ①読み取り方
- ②目標設定や支援上のリスク管理への活用方法

【リハ職】

- ①実際の伝わり方
- ②ケアマネジャーや介護職に必要な情報の伝え方

ケアマネとりハ職の情報共有の練習会

2022年11月7日(月) 19時～20時30分

【申し込み方法 および申し込み先】

申し込み方法①「参加申し込みフォーム」からのお申し込み

※可能な限り「参加申し込みフォーム」からのお申し込みにご協力ください

URL → <https://www.himeji-renkei.com/mailform4.html>

(当センターホームページ「研修スケジュール」からも申し込みできます)

参加申し込みフォームに必要事項を入力しお申し込みください

参加申し込み
フォーム
QRコード



申し込み方法② メールまたはFAXにてお申し込み

E-mail : med-care@himeji-med.or.jp

FAX : 079-295-3351

下記必要事項をお知らせください

《必要事項》

①研修会名 ②氏名 ③所属機関名 ④職種 ⑤E-mailアドレス

⑥電話番号 ⑦FAX番号

⑧必要な配慮がございましたらご記入ください

※直接連絡の上、相談させていただきます。状況により、対応できない場合は
ご了承ください

＜例＞車いすスペース、障害者等専用駐車スペース、介助者の同行、手話通訳、
要約筆記、点字資料、拡大文字資料、その他（具体的に）

★申し込み締切：10月31日（月）

※定員に達した時点で受付を終了しますので、お早めにお申し込みください

- ・メールまたはFAXにて申し込み受付完了のお知らせをお送りいたします
お申し込みから4～5日経ってもお知らせが届かない場合は、受付できていない場合
がありますので、お手数ですが下記までご連絡いただきますようお願いいたします
- ・当方からの連絡事項等（例えば新型コロナウイルス感染予防対策による中止や延期な
ど）がある場合、お申し込み時に必要事項にてお知らせいただいたメールアドレスに
お送りいたしますので、適宜メールのご確認をお願いします
- ・マスクの着用にご協力をお願いいたします

＜お問い合わせ先＞

姫路市在宅医療・介護連携支援センター（受託者：姫路市医師会）

対応時間：月曜日～金曜日（祝日・年末年始を除く）午前8時35分から午後5時20分

TEL：079-295-3330

E-MAIL：med-care@himeji-med.or.jp

FAX：079-295-3351

ホームページURL：<https://www.himeji-renkei.com/>

※研修会当日は、お問い合わせやメールへの対応ができないことがあります

ホームページ
QRコード



第4回 ケアマネとリハ職の情報共有の練習会

令和4年7月26日（火）19時～20時30分 姫路市総合福祉会館



感染予防対策として、会場は換気対策をさらに
行い、グループワークは1グループ基本4名
とし、フェイスシールド着用で行いました。

リハ職が書いた情報提供書（リハビリテーション計画書）の内容をケ
アマネジャーとリハビリ職と一緒に読み取ることで、

《ケアマネ》生活機能の今後の可能性（将来予測）や、生活上の
注意をどうやって確認するか

《リハ職》 どんな情報をどのように伝えるとケアマネが理解し
やすいのか

について考え、深めていくことを目的とした練習会になります。

第4回は、ケアマネジャー14名、リハビリ職22名、他専門職8名
の方々にご参加いただきました。

今回は、言語聴覚士会より事例（リハビリテーション計画書）を
提供していただき、10グループに分かれて話し合いを行いました。
ちょっとした疑問や意見交換など、日常の業務では、聞きに
くかったことが、少人数のグループだとお互いに聞きやすく話し
やすい環境になりました。各グループとも、和やかな雰囲気の中
か、笑顔を交えながら活発な意見交換が行われていました。



ケアマネジャーさんとリハ職さんが一緒に計画書に記載された
情報について直接確認し合い、意見交換をする中で、

・《ケアマネ》「入院時情報（生活情報も含めて）」を具体的に
情報提供する

➔ 《リハ職》計画書の具体的な方針・目標設定に反映できる

・《リハ職》病状やADL・IADLの状態などを、特記事項欄を
活用してより詳しくわかりやすくリハ計画書に記載する

➔ 《ケアマネ》イメージ化でき、ケアプランに反映できる

《参加者アンケート 回答（一部抜粋）》

- ・書類だけでは伝わりきらないことがあるため、可能な限りコミュニケーションをとっていきたい（リハ職）
- ・個別性と具体性を意識していくことが大切だと知り、とても勉強になった（リハ職）
- ・ケアマネさんからいただいた生活背景の情報をもとにリハ計画を立案し、本人の生活に合ったリハビリが行えるようにしたい（リハ職）
- ・初めて参加させていただき、ケアマネさんとの連携を深めるきっかけになって、良かった（リハ職）
- ・（2回以上参加者）この研修会により、リハビリの目的を（他職種に）伝わりやすく表現するように意識するようになった（リハ職）
- ・リハ職とケアマネの視点の違いがあるので、意見・情報交換をすることでより目標が具体化することを学んだ（ケアマネ）
- ・練習会を通じて、参加者（リハ職の方）の意見や考えが聞け、顔の見える関係になるのは良いと思う（ケアマネ）
- ・（2回以上参加者）この研修会により、リハビリ計画書を見る時の意識が違ってきたし、確認するポイントがわかってきた（ケアマネ）
- ・情報提供書に本人の生活状況を意識して記載することで、より具体的なリハ計画が作成できることが認識できた（社会福祉士）

次回の「ケアマネとリハ職の情報共有の練習会」は11/7開催予定です。

今後の研修会情報につきましては、センターのホームページでもご確認いただけます